



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合  
〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
96.8.20 43 (222) 4834  
No.

新ガイドライン粉碎  
労働法制改悪阻止  
盗聴法案廃案へ

— 臨時国会闘争勝利 —

## 8/29集会へ



### 組織的犯罪対策三法案とは…?

- 日本ではじめて、警察が盗聴することを認める法案
- 労働組合や市民団体などの団体取り締まりを強化する法案
- 裁判での、弁護活動を侵害し、デッチ上げを促進する法案、です。

今重要なことは、職場での闘い、団結を強化しながら、日々高まる労働者人民の怒りを結集させ、反動政権打倒、反動法案

小淵新政権は、橋本内閣以上の二流内閣でしかない。世論調査でも、いつ何時解散・総選挙となってもおかしくない情勢となっている。今日の情勢は経済危機が政治支配の危機へと突き進み、それが極限的に深刻化し、階級対立が爆発していく時代が始まったことを示している。

日々高まる労働者の怒り  
— 闘う大同団結を —

### 私たちは集会への参加を呼びかけます!

- 宇井純 (沖縄大学教授)
- 岡部伊都子 (随筆家)
- 尾崎秀樹 (文芸評論家)
- 鎌田慧 (ルポライター)
- 木下信男 (明治大学名誉教授)
- 壽岳章子 (エッセイスト)
- 佐高信 (評論家)
- 白井佳夫 (映画評論家)
- 田島征三 (画家)
- 茶本繁正 (ジャーナリスト)
- 夏堀正元 (小説家)
- 足立昌勝 (関東学院大学教授)
- 甲斐道太郎 (京都学園大学教授)
- 庭山英雄 (専修大学教授)
- 宮本弘典 (関東学院大学助教授)
- 山内敏弘 (一橋大学教授)

粉砕の行動に立ちあがることである。

参院選の結果は、大失業攻撃

に対し、労働者人民が投票行動という形であれ、政治行動に立ちあがったのである。膨大な労働者が現状の変革を求めて、激しく動き出したのである。今こそ「闘う労働運動の新たな潮流」を形成するたまたかいを大々的に推し進めなければならぬ。「八・二九集会」は、その第一弾の闘いである。

— 戦争のための新安保ガイドライン関連法! 警察国家化への道 — 組対法を絶対に許すな!

今臨時国会で強行突破しようとしている新ガイドライン関連法は、戦争法案そのものである。また労働法制の抜本的改悪攻撃、加えて盗聴法をはじめとした団体取締法等、戦後史を画する超反動法案である。絶対に許してはならない。いま立ちあがれば阻止できる。小淵政権はグラグラであり、何の展望も成立への確信もないのだ。労働者が中心となって、大衆的反撃に立つなら必ず勝てる。決意も新たに八・二九へ。

### 急速に広がる盗聴法・組対法反対の声

- 武建一 (全日本建設運輸連帯労働組合近畿地方本部関西地区生コン支部執行委員長)
- 筒井修 (福岡地区合同労働組合代表)
- 中野洋 (国鉄千葉動力車労働組合執行委員長)
- 新居崎邦明 (争議団連絡会議事務局)
- 藤田良雄 (全国金属機械労働組合港合同委員長)
- 長谷武志 (全金本山労働組合執行委員長)
- 組織的犯罪対策立法に反対する全国ネットワーク北海道
- 全金本山労組
- 組織的犯罪対策立法に反対する全国ネットワーク新潟
- 組織的犯罪対策法に反対する共同行動
- 盗聴法に反対する神奈川県市民の会
- 「つぶせ! 盗聴法」静岡県連絡会
- 組織的犯罪対策立法に反対する「愛知」連絡会
- 京都大学刑事法研究会
- 破防法・組対法・有事法に反対する実行委員会事務局
- 関西破防法反対行動連絡会
- 全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部
- 全国金属機械労働組合港合同
- 破防法・組対法に反対する岡山市民の会
- 破防法に反対する広島実行委員会
- 組織的犯罪対策法制定に反対する市民共同行動・福岡
- 破防法団体規制に反対する連絡会議
- 北九州市民運動連絡会議

八・二九集会への賛同人・団体の広がりの中に、小淵政権への怒りと反動法案への危機感が急速に広がっていることを見てとることが出来る。

特に労働運動の分野では、全国各地で闘う「司令塔」的位置にある労組が名をつらね、集会に結集する取り組みに入っている。

### 指定列車

- ★「総武線」
- 千葉発7番11時39分
- 快速(一三四)F
- ★「京葉線」
- 蘇我発11時40分(三)
- \*最後尾

## 8/15集会かちとる 日本現状に警言鐘乱打

うんめいのとき」と、盛り沢山のプログラム。

8月15日、今年で四回目になる「8・15労働者・市民の集い」が、新宿・朝日生命ホールで開催された。

集会第一部は、上野美佳子さんの美しいソプラノのミニコンサートで幕をあげ、国労札幌闘争団の仲間と、一〇〇万人署名運動の呼びかけ人、森川金寿弁護士のアピール、恒例となった「ザ・ニュースペーパー」の大爆笑のコント「大ニッポンの『プライド』?」周辺事態の瞬間へ

集会は、戦争への岐路にたつ日本の現状に警鐘を鳴らし、新たな闘いを創りだす決意を誓い合い、大成功のうちに終了した。